しんぶん赤旗
日刊 ●月 ３４９７円
日曜版 ●月 ９９０円
南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア
連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます

しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会
発行責任者　木村　文次

９月議会報告傍聴記

激甚化する豪雨等の気候対策を！

９月議会は９月２日から９月29日まで開催され、日本共産党市議団の質問は９月10日に行われました。



船橋議員の質問

船橋議員は３つの質問をしました。

１つ目は、防災について

〈地震対策について〉

・市内の公共施設で１９８１年以前の旧耐震基準の建物の数は。また耐震診断、耐震補強は行われているか。…旧耐震基準の建物２３９棟中、特定建築物は44棟（鉄筋コンクリート造37棟、鉄骨造５棟、鉄骨鉄筋造２棟）耐震診断は43棟で行い、７棟は耐震性があると判定、36棟は耐震補強を行った。１棟は旧クリーンセンターで現在解体中。その他避難所となる18棟は対応済み。残りの耐震診断未施工の建物は今後検討していくと回答。

・市内の公共施設でガス設備を利用している建物の数は。また安全確認はどの様にされているか…１０６施設（内14施設LPガス使用）。震度５以上で遮断する仕組みになっており、４年に一回ガス事業者が漏洩検査と使用機器の異常の有無を確認し報告を受けている。

〈千葉豪雨について〉

・市内雨水対策は１時間何㎜で設計されているか。また市内アンダーパス等排水ポンプは何カ所設置されているか、今回正常に動いたか。排水ポンプの点検は、非常用電源はあるか…１時間50㎜で計画。道路課５基、治水課22基、県１基。ポンプは正常を確認。点検は道路課は年２度、治水課は年５～８度、県は年12度。非常用電源は道路課１基、治水課５基。

・処理能力を上げるように求めましたが、市は未整備なので50㎜対応を先に進めるとの回答。

・アンダーパスには電光表示や自動の遮断機設置を提案しました。

〈我孫子４丁目の浸水について〉

・貯水池があふれる原因は。排水管を大きくする計画は。住宅の床下浸水を防ぐ対策を…１時間９５・５㎜だったが、24時間で２４１・５㎜と今までに経験のない量だった。シミュレーション分析を行い対応をしたい。

・床下浸水の対策として通気口の塞ぎや止水版の設置を提案しました。

２つ目は、福祉行政について

〈高齢者の認知症と難聴について〉

・「75歳を迎えられる方への手紙」に難聴の項目がないが。補聴器購入助成制度の創設を…「難聴と耳のフレイル」という資料を発行している。国の公的補助制度とすべきとの回答。

・資料を手紙に入れるよう要求しました。

３つ目は、環境行政について

〈リサイクルセンター整備運営事業について〉

・８月28日締切りで入札参加を表明したJVはいくつあったか。…落札者が決まるまで答えられないとの回答。

・大きな工事なので公平に進めてもらいたいと要望しました。

（しらかば編集部）

日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは https://jcp-abiko.com/ です。
スマホのＱＲコードはこちらから。→

駅改札脇のポップアップストア



以前我孫子駅改札脇にあったキヨスク。その後スシローのテイクアウト専門店に変わるも３月末に閉店。現在はポップアップストアとして営業中。

ポップアップストアとは期間限定で開設される一時的な店舗。通常の固定店舗とは異なり、一週間程度の短期間だけの営業。

現在は全国有名スイーツ店が入れ替わりで営業。ポップアップストアなので「今度買いに行こうか」と思っていたら店が変わっていたなんてことも。

またこの店は現金が使えない。駅のワゴン販売で「現金のみ」はよくあるけど「現金は使えません」は珍しい。

あと有名スイーツは高価。なので買うなら大切な人へのお土産に。（緑　S）

日帰り散策のお知らせ

▼場所　北柏駅北側周辺
▼日時　10月17日（土）10:20我孫子駅改札集合（小雨決行）（10:26発各駅停車に乗車予定、10:29 北柏駅下車）
▼行程　アクロス北柏、北星神社、東陽寺、妙蓮寺など
▼昼食　北柏南口を予定（14:30頃解散予定）

主催　日本共産党我孫子南地域後援会

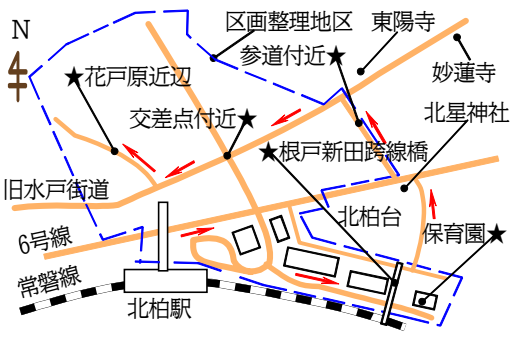
オオバン

８月13日千葉県に線状降水帯が発生し「千葉豪雨」に見舞われました▼千葉県で死者13名、床上浸水１０５０戸以上、床下浸水２７００戸以上を記録し内水氾濫で車の冠水が目立ちました▼我孫子市内では死者は出なかったものの「レベル５大雨特別警報」「レベル４土砂災害危険警報」が発令され床上浸水77戸、床下浸水１１６戸の被害に合い、根戸近隣センターで１時間あたり97㎜の最大雨量、北近隣センター並木本館で積算降雨量２６６・５㎜を記録し10避難所に一時１６４名が身を寄せました▼その後も全国に大雨が続きます▼９月21・22日には台風25号が太平洋沖を通過し神奈川県と千葉県に被害を及ぼしました。土砂災害で多くの死者を出し、河川の氾濫、翌日からの印旛沼の堤防決壊で農地に浸水しました▼印旛沼は昔、手賀沼とつながる入江で手賀沼と同様に沼を干拓してきた歴史があります▼雨水降水量も１時間あたり50㎜では危険な時代となり、命を守るために見直しが必要です▼激甚化する要因は温暖化により海水温が高く水蒸気を多く発生するためと言われています。CO_2の排出量を減らすしかありません。（T）

我孫子古道巡り　その99　北柏駅北口を巡る・後編

今回は、先月に続き北柏駅北口の区画整理地区を巡ります。区画整理は平成12年度（２０００）に始まり、工事が遅れ令和13年度に施工完了の予定になりました。


根戸新田跨線橋と作業車



北柏駅北口の商業施設を過ぎ、東に進むと「根戸新田跨線橋」があります。常磐線をまたぎ南から北へと行き来できます。理由は分かりませんが、今年4月から四輪車両の通行が出来なくなりました。


きたかしわ保育園

その先には「きたかしわ保育園」が出来ていました。北口周辺には文教施設がなく、保護者の皆さんも保育園が出来て喜んでいるのではないでしょうか。


参道付近

北上すると「北柏台」です。この地区はすでに分譲され区画化されています。

「北星神社」を過ぎ西に向かい「6号線」の信号を渡ります。東に向かい、北星神社の参道と思われる道の両側は更地となり道路の拡張工事が行われていました。

「旧水戸街道」に出ると東側は「東陽寺」と「妙蓮寺」です。西に向かうと駅前広場に続く広い道が出来てお


交差点付近

り北側は行き止まりになっています。また道の両側は更地となっていました。

駅北口横には居酒屋や飲食街がありましたが、区画整理に伴い撤去されました。


花戸原付近

駅北口の北側は「花戸原」で新たな道路が出来て更地になっていました。

（栄　関口）

常磐線あれこれ　68

常磐線に「ときわ」の愛称の列車が登場したのは昭和30年2月、上野―水戸間を約2時間で結ぶ快速として2往復運転されました。

車両はその頃登場したばかりのディーゼル車ですが、元々ローカル線用だったこともあって車体幅が狭く、座席はクロスシートでしたがビニール張りで、通路側に肘掛けもなく快適とは言えませんでした。

しかし快速が登場するまでの上野―水戸間の所要時間は各駅停車で約2時間50分でしたので、大幅にスピードアップしたことと、同時に煙から解放されたことも


ディーゼル快速

あったので好評でした。

昭和33年6月「ときわ」は準急に格上げされて3往復運転されました。車両も車体幅が広く、車内設備も同時期に東海道線に登場した準急電車と同じ水準の車両になりましたが、運転開始当初は車両が足りず、先頭車のみ新型で中間車は快速時代の車両のままの状態がしばらく続きました。

準急「ときわ」の上野―水戸間の停車駅は土浦・石岡・友部の3駅のみで最短1時間37分、当時としては驚異的な速さでした（現在の特急「ときわ」上野―水戸間の停車駅は柏・龍ケ崎市・牛久・土浦・石岡・友部の6駅で最速1時間20分）。

準急「ときわ」はその後ダイヤが改正するたびに本数が増え、昭和41年10月高萩電化のダイヤ改正では電車による「ときわ」も運転されました。そして常磐線の電化が北上していく毎に電車の「ときわ」が増えていきました。ただ当時の「ときわ」は非電化の水郡線に直通する車両を併結する列車もありましたので、ディーゼル車の「ときわ」は電化後も残りました。

（緑　竹内）


ディーゼル準急「ときわ」

しらかば文芸欄　49

書・寿　芳華

皓月千里（こうげつせんり）　明るく輝く月が千里のかなたまで照り渡っている




「カンナ」　若松・高橋祥子